

○林委員長 開会いたします。本日は全員の出席であります。

令和3年第1回定例会提出議案について、議案第16号、議案第18号、議案第59号について、理事者から説明を願います。

経済部長。

○品田経済部長 議案第16号、令和3年度旭川市一般会計予算のうち、経済部所管分につきまして御説明いたします。

初めに、経済部全体の予算概要を御説明いたします。資料等はございませんが、経済部の事業費は、5款労働費の一部6千201万9千円と7款商工費の一部75億6千195万9千円の総額76億2千397万8千円で、対前年度比で18億2千894万5千円、率で31.6%の増となっております。増額となりました主な理由は、中小企業振興資金融資事業費及び動物園事業特別会計繰出金が増となったことによるものでございます。総事業費から貸付金を除いた、いわゆる政策的な事業費といたしましては、11億3千637万1千円を計上しております。

続きまして、新規拡充要素のある事業を中心に主な事業の概要につきまして御説明申し上げます。令和3年度予算臨時事業費説明資料を御覧ください。

11-2ページ、5款1項1目労政費、はたらく環境づくり支援費752万6千円でございます。本事業は、地域における働きやすい就業環境を整備するため、企業へのキャリアコンサルタント派遣及び高年齢者、障害者、外国人といった多様な人材活用をテーマにしたセミナーを実施するものでございます。また、新型コロナウイルス感染症の対策として、引き続き企業のテレワーク新規導入を促進するほか、令和3年度は、障害者、ひとり親家庭の父母等の就職困難者をテレワーク雇用につなげる助成を新たに実施するものでございます。

次に、11-4ページ、7款1項1目商業振興費、中小企業振興資金融資事業費65億8千769万3千円でございます。令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症により経営状況が悪化した事業者への緊急的な資金繰り支援として、現在実施しております災害・景気対策融資を令和3年5月まで実施いたします。これは、国の実質無利子融資が令和3年5月までであることから、期間を合わせるものでございます。令和3年6月からは次のステップとして、経営力強化サポート融資を拡充したいと考えており、この制度は、金融機関や税理士などの専門家の協力の下で経営を改善し、経営安定化へ支援を行う制度でございます。

次に、11-5ページ、ICTパーク運営費7千290万円でございます。ICTパークにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、民間で進められていた施設整備に遅れが生じていたことや、総務省のローカル5Gに関する開発実証事業が当初の予定よりもずれ込んだことなどの影響もあり、当初の予定と比べ遅れていたところではありますが、昨年12月23日にICTパーク推進協議会を設立、先月2月7日には、ICTパークオープニングセレモニーを開催したところでございます。新型コロナウイルスの状況を踏まえ、本格的な運用開始は4月以降を予定しておりますが、令和3年度は、今年度延期としたeスポーツのオープニング記念大会の開催をはじめ、プログラミング的思考体験の実施など、関係団体等と連携を進め、まちなかのにぎわい創出やICTに関心の高い人材の育成、AIやIoTなどの先端技術の導入を推進してまいります。

次に、11-6ページ、新規事業、平和通買物公園50周年記念事業関連調査補助金50万円でございます。本市のメインストリートである平和通買物公園は、昭和47年に全国初の恒久的歩行者専用道路としてスタートしてから、令和4年に50周年の節目を迎えます。本事業は、その前の年である令和3年度において、旭川平和通買物公園企画委員会が、50周年に向けたこれまでの歩みの調査、検証など、総額200万円の事業を行うに当たり、補助金として50万円を交付しようとするものでございます。

次にその下、北の恵み食べマルシェ開催負担金5千820万円でございます。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により初めて全日程を中止といたしましたが、来年度は、感染対策を行った上で開催し、コロナ禍において岐路に立たされている食関連事業者の支援や、中心市街地の活性化につなげてまいりたいと考えております。会期は9月18日から20日までの3日間を予定しており、食べマルシェ会場などで利用できるプレミアム率20%のチケットを発行するなど、お客様に喜んでいただける様々な企画を実施しながら、地域経済の回復に努めてまいりたいと考えております。

次に、11-7ページ、2目工業振興費、デザイン推進事業費2千361万9千円でございます。デザイン都市旭川の取組を推進させるため、産業振興、人材育成、文化創造の3つの柱により事業を実施してまいります。産業振興につきましては、デザイン思考による中小企業のブランド化やイノベーション創出を推進するため、デザイン思考を経営に取り入れるデザイン経営に取り組む民間企業を支援する取組を推進してまいります。次に、人材育成につきましては、将来を担う子どもたちのデザイン思考力を高めるための事業や、地域を担っていく若者の育成に取り組めます。最後に、文化創造につきましては、市民参加型のデザインプログラムの実施により、この地の人や資源が持っている大きな力を、市民とともにデザイン思考で旭川の未来創造につなげる取組を推進してまいります。この3つの柱を通じまして、デザイン都市旭川を推進し、地域活性化につなげてまいりたいと考えているところでございます。

次にその下、国際家具デザインフェア旭川2020開催費400万円でございます。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、イベントが延期となっておりますデザインフェア、いわゆるIFDAの開催に係る経費の一部を支援するものでございます。開催を通じてコンペ応募デザイナーと地域メーカーのデザインマッチングや、コンペ作品の製品化、IFDAの知名度を生かした海外販路拡大のほか、インターネットコンテンツを充実し、ICTを積極的に取り入れながら、旭川家具を国内外に広く発信していこうというものでございます。

次にその下、新規事業、イノベーションモデル創出支援費1千252万4千円でございます。コロナ禍で変容した社会に対応していくために、企業や組織の枠組みを超えて外部人材の知見や技術、ノウハウの活用により、新たな技術開発や製品、サービスなど、社会課題解決型ビジネスモデルを創出し、他の事業者のモデルケースとなり得る事業を実施する中小の事業者に対し、その取組に要する経費について補助金による支援を実施するというものでございます。

次に、11-8ページ、新規事業、地域連携技術者育成支援費150万6千円でございます。現在、旭川高専とは、プログラミングコンテストやICTと関連したeスポーツ事業で連携を進めておりますが、地域のものづくり技術者の底上げや新たな開発プロジェクトの創出、学生の地域企業への就職意識の醸成等を目的とした取組など、これらを推進する旭川工業高等専門学校産業技術振

興会に対し負担金を支出し、地域企業との連携を強化する事業を行うというものでございます。

次に一番下、3目企業誘致費、企業誘致地域活力創生費2千499万5千円でございます。本事業は、地域経済の活性化、雇用機会の拡大を図るため、周辺3町や経済界と連携し、東京サテライトオフィスの機動力を生かしながら、企業折衝、情報収集、東京での企業立地セミナーを開催するほか、本市への拠点整備を検討する市外企業を招聘し、地域づくりを支援する活動等を展開し、動物園通り産業団地を中心とした本市への企業立地を推進するというものでございます。

続きまして、議案第18号、令和3年度旭川市動物園事業特別会計予算につきまして御説明申し上げます。同じく、令和3年度予算臨時事業費説明資料11-10ページを御覧ください。動物園事業特別会計の予算総額は21億1千51万8千円でございます。令和3年度におきましては、新型コロナウイルスの終息が見通せない中、入園者数の回復は大きく見込めないことから、歳出を極力圧縮し、特に施設整備に関しましては、令和2年度から着手しているえぞひぐま館の関連工のほか、老朽化により来園者や飼育動物への危険性が高くなっている既存施設の修繕等に限定しながら、園の魅力を維持できるよう事業予算を組み立てたところでございます。

主な事業の概要でございますが、3段目のえぞひぐま館（仮称）整備費7億8千126万5千円でございます。令和2年度から着手いたしましたえぞひぐま館につきまして、令和4年度の夏期開園時のオープンを目指し、引き続き工事を行うというものでございます。主な内容といたしましては、えぞひぐま館（仮称）新築工事と外構工事を合わせまして7億7千156万2千円、委託料では、エゾヒグマの生息地域の四季折々の映像を背景に投影する展示を考えており、そのための動画編集に55万円などを計上しております。次に、施設整備費でございますが、もうじゅう館の外部や水禽舎建具の修繕、こども牧場をはじめ、各施設の暖房取替えなど、緊急度の高い修繕費として合計3千595万9千円を計上しているほか、工事請負費には、えぞひぐま館の新築に伴い、通報設備を整備する無線通報設備改修工事に3千560万円、委託料では、園内樹木の剪定及び植栽や各展示館の浄化システムの保守及び一部更新に1千259万4千円を計上しております。また、経常費、施設管理費におきましても、消毒や換気等新型コロナウイルス対策をしっかりと行い、来園者の安全確保の徹底を図りながら、引き続き来園者の利便性向上や、SNSを活用した様々な情報発信等に努めてまいりたいと考えております。

次に、動物園事業特別会計の歳入についてでございます。資料等はございませんが、1款事業収入が5億4千731万5千円、4款寄附金が2億134万6千円、5款繰入金が一般会計繰入金と基金繰入金を合わせまして10億5千87万4千円などとなり、歳出と同額の21億1千51万8千円となっております。また、基金につきましては、別途条例の一部改正議案を提案させていただいておりますが、コロナ禍を踏まえ、令和3年度に限り、従来の施設整備及び動物の購入に加え、動物の飼育及び健康管理に関する経費にも充当することとし、予算を計上しております。なお、地方債につきましては、動物園事業特別会計予算書の第2表地方債のとおりでございます。

続きまして、議案第59号、旭川市旭山動物園施設整備基金条例の一部を改正する条例の制定につきまして御説明申し上げます。今、お話をいたしました件でありますけれども、本条例は、動物展示施設等の整備及び動物の購入に必要な経費の財源に充てることを目的とした基金につきまして、その処分規定を時限的に改正しようとするものでございます。改正内容でございますが、令和3年度予算計上に当たり、新型コロナウイルス感染症の影響により入園料収入が大きく見込めない状況

であるため、令和3年度に限り、動物展示施設等の整備及び動物の購入のほか、動物の飼育や健康管理に必要な経費の財源にも基金を充当できるように処分規定を改めようとするものでございます。

経済部からは以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○林委員長 観光スポーツ交流部長。

○三宅観光スポーツ交流部長 議案第16号の令和3年度旭川市一般会計予算のうち、観光スポーツ交流部所管分につきまして御説明申し上げます。

初めに、資料はございませんが、部全体の予算概要について御説明いたします。2款の一部4千614万3千円と6款の一部4千973万9千円と7款の一部2億5千386万8千円と10款の一部14億3千420万4千円の総額17億8千395万4千円で、前年度当初予算と比較して854万8千円、率にして0.5%の増となっております。部といたしまして、総事業数が31事業、その内訳といたしましては、経常費7事業、一般臨時13事業、重点化8事業、特定1事業、公共投資1事業、施設改修1事業となっております。

続きまして、新規事業及び重点事業を中心に、主な事業の概要について御説明申し上げます。令和3年度予算臨時事業費説明資料を御覧ください。

12-1ページの2款1項1目、国際親善交流費2千41万5千円でございます。この事業は、姉妹・友好都市など諸外国との様々な交流を推進し、市民の国際理解や国際交流の促進、充実を図るものです。新型コロナウイルス感染症の影響により、以前のような往来による交流が難しい環境が続いておりますが、適宜、状況の見極めやオンラインの活用など、手法の検討を行いながら交流継続を図ってまいります。

次に、12-2ページ、7款1項4目、旭川観光コンベンション協会補助金4千235万2千円でございます。この事業は、旭川観光コンベンション協会との連携により、官民一体となって本市の観光振興に取り組むものでございます。令和3年度は、新たに学術会議や企業ミーティングの開催を支援する制度を創設して会議等の誘致を図ろうとするものでございます。

次に、12-3ページ、観光受入体制充実費500万円でございます。この事業は、観光客の滞在時間の増大やリピーターの創出を図るため、受入れ体制の向上策として、市内路線バス共通乗車券の発行や、中心市街地のWi-Fi環境の整備を継続して支援するとともに、国のアイヌ政策推進交付金を活用して、アイヌ文化関連スポットをめぐるモデルコースの開発、発信や、アイヌにまつわる観光案内板を整備するものでございます。アイヌ政策推進交付金の活用につきましては、上から4段目の観光情報発信費503万9千円におきましても、アイヌ文化を活用した情報発信を実施いたします。

次に、12-3ページ、教育旅行等誘致促進費1千391万7千円でございます。この事業は、修学旅行や合宿で本市を訪れ、市内ホテルや旅館を利用する宿泊者に対して、飲食店や物産展で使用できるクーポン券を配布するものでございます。

次に、12-4ページ、10款6項1目、カムイスキーリンクス索道等整備費1億7千602万5千円でございます。この事業は、カムイスキーリンクスの安全で快適な利用環境の整備のため、スキー場内の老朽化した施設整備等の改修を行うものです。令和3年度は、ゴンドラ駅舎の外部改修工事や第2駐車場の防じん処理工事などの内容となっております。

最後に、12-5ページ一番下の段、スポーツ大会等誘致推進費1千488万6千円ございま

す。この事業は、市民におけるスポーツ人口の増加や競技力の向上を図るため、スポーツ大会や合宿の誘致活動、本市のスポーツ観光のPR活動を行うものです。令和3年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催に係り、パブリックビューイングや聖火リレーイベントを開催するほか、北京オリンピックの開催に係り、パブリックビューイングなどの関連事業を実施してまいりたいと考えております。

以上が、観光スポーツ交流部所管の主な事業の説明でございます。よろしくお願いたします。

○林委員長 農政部長。

○和田農政部長 議案第16号、令和3年度旭川市一般会計予算のうち、農政部所管分につきまして御説明を申し上げます。

初めに、資料はございませんが、農政部の令和3年度事業費総額は14億5千989万6千円で、前年度と比較し4千847万1千円、率にして約3.2%の減となっております。その主な理由といたしましては、道営ほ場整備費の対象地域が棚田地域振興法による指定棚田地域に指定され、本市の負担金額が減額になったことによるものでございます。

次に、主な事業につきまして、令和3年度予算臨時事業費説明資料に基づき説明をいたします。

13-1ページを御覧ください。最初に、6款農林水産業費、1項農業費、2目農業振興費の2段目、新規就農確保・育成対策費1千411万6千円では、全国的に担い手の減少が続いておりますが、新たに農作業体験ツアーの開催や、オンラインを含む就農相談会への参加、あるいは新規就農者の受入れから経営安定化まで一貫した支援を行いまして、新規就農者の確保や地域農業を牽引する競争力の高い経営体を育成しようとするものでございます。

次に、13-2ページ、担い手確保・育成バックアップ対策費136万円では、多様な農業経営の発展を推進するため、経営者等が園芸作物の栽培方法などを地域の農業者から学ぶ機会を創出するとともに、経営者としての資質向上を目指す農業青年団体への支援や、農村女性団体が企画する研修会などへの補助を行うほか、生産現場で不足する労働者の確保に向けた取組を進めるものでございます。

次に、13-3ページ一番下の段、3目農産園芸振興費、農産物等流通拡大支援費285万円では、農産物の付加価値向上や流通拡大を図るため、市場開拓や加工・販売施設の整備、旭川産農産物のPRなどに取り組む農業者を支援することにより、農業者の所得向上を後押ししようとするものでございます。なお、加工・販売施設の整備のうちコロナ対策に係るものにつきましては、補助率の4割から5割への引上げを継続し、引き続き支援をしております。

次に、13-4ページ、強い園芸産地づくり支援費1千100万円では、老朽化したハウスの更新に当たりまして、強度の高いパイプや間口の広いハウスの導入支援により、耐久性や機械作業等に適した作業効率の高いハウス整備を促進することで、産地としての生産性を高めるとともに、災害などの影響を受けにくい安定生産が可能な体制づくりを支援しようとするものでございます。

次に、施設園芸スタートアップ支援費200万円では、担い手等が新たに施設園芸に取り組むことにより、経営安定化や所得向上につなげるため、水稻育苗後ハウスを活用した養液栽培システムによる野菜の栽培や、冬期野菜の栽培に必要な資材の補助を行い、足腰の強い園芸産地としての維持、発展を図ろうとするものでございます。

次に、13-5ページ、4目農業センター費、園芸参入者フォローアップ強化費15万6千円で

は、担い手の育成を図るため、道認定の研修教育機関として新規就農希望者を受け入れるほか、センター内の試験圃場での技術研修や外部講師による講義、あるいはセンター職員による新規園芸参入者の圃場の巡回指導などによりまして、栽培技術の向上や早期の経営安定化に向け、支援をしようとするものでございます。

次に、同じページ、新規事業でございますが、土づくり対策支援費251万4千円では、土壌診断の利用促進や適正施肥栽培の普及を図り、生産の安定化及び営農コストの低減につなげるため、専門指導員による土づくりに関する圃場巡回指導や、作物や土壌の状況を迅速に測定するリアルタイム診断、適正施肥や、農業センターの事業等に関する情報を伝えるためのニュースレターの発行などに取り組むものでございます。

次に、同じページ一番下の段、6目農地改良費、生産基盤改善促進費800万円では、簡易な暗渠排水整備、除礫、区画整理に対し助成し、農地の改善を図ることで耕作放棄地の発生を防止し、将来に持続する生産性の高い営農体制づくりを進めようとするものでございます。

次に、13-7ページ一番下の段、2項林業費、1目林業振興費、森林整備対策費2千387万4千円では、民有林の計画的な整備や、森林の持つ多面的な機能の発揮を促進するため、森林環境譲与税を活用して造林及び間伐等に係る経費の一部を助成するとともに、森林所有者の意向調査や林道の維持管理に取り組むものでございます。

最後になりますが、13-8ページ、新規事業でございますが、木材利用・普及啓発推進費213万5千円では、森林の果たす役割や森林整備の必要性など、広く市民に対して理解してもらうことを目的に、森林教室の開催や、森林・木材利用の普及啓発活動を行う団体等に対する支援のほか、道立北の森づくり専門学院との連携や、食べマルシェなどのイベントを活用しまして、森林や木材の普及啓発を推進しようとするものでございます。

以上、農政部所管に関わります一般会計予算の説明とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○林委員長 学校教育部長。

○山川学校教育部長 議案第16号、令和3年度旭川市一般会計予算のうち、学校教育部所管分につきまして御説明申し上げます。

初めに、資料はございませんが、学校教育部所管の予算でございますが、経常費、臨時費を合わせまして合計49億3千2万円、対前年度比5億8千647万円の減、率にして10.6%の減となっております。

次に主な臨時事業につきまして、令和3年度予算臨時事業費説明資料により御説明申し上げます。

初めに、17-1ページ、10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、学校ICT環境整備費7千218万4千円につきましては、ネットワーク接続料等の学校ICTに係る保守、維持管理など、高速大容量の情報通信ネットワークにより円滑な運用を図るとともに、児童生徒1人1台のタブレット端末を授業等で効果的に活用するなど、GIGAスクール構想を推進するものでございます。

次に、17-3ページ、2項小学校費、2目教育振興費、特別支援教育推進費1億4千887万4千円につきましては、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を行うため、小中学校に特別支援教育補助指導員を配置するものでございます。令和3年度は、医療的ケアの必要な児

童生徒に対応するため、看護師資格を有する補助指導員を1人増員するものでございます。

次に、17-4ページ、2項小学校費、3目維持修繕費、学校施設大規模改修費（小学校）3千286万円、及び17-6ページ、3項中学校費、3目維持修繕費、学校施設大規模改修費（中学校）4千498万円につきましては、児童生徒によりよい教育環境を整備するため、経常的な維持修繕を超える大規模改修を行うものでございます。令和3年度においては、令和2年度補正予算と合わせて、小学校で3本、中学校で9本のアスベスト含有断熱材を使用した煙突の改修などを行うものでございます。なお、これをもちましてアスベスト含有断熱材を使用した煙突の改修は完了することとなります。

次に、17-5ページ、3項中学校費、2目教育振興費の一番下、部活動指導員配置促進費357万円につきましては、中学校において、部活動指導の一層の充実と学校における働き方改革の推進を図るため、部活動指導員の配置を促進するものでございます。令和3年度は、部活動指導員の配置数を2人増員するものでございます。

最後に、17-6ページ、3項中学校費、4目学校建設費の一番下、明星中学校増改築費580万円につきましては、老朽化した明星中学校の改築に向けて国の補助金活用に必要な耐力度調査を実施するものでございます。

令和3年度一般会計予算につきましては、以上でございます。よろしく申し上げます。

○林委員長 社会教育部長。

○高田社会教育部長 議案第16号、令和3年度旭川市一般会計予算のうち、社会教育部所管分につきましては御説明申し上げます。

初めに、資料はございませんが、社会教育部が所管する歳出予算であります経常費13事業、臨時費35事業を合わせた事業費の合計は15億7千999万4千円で、前年度当初予算と比較して4千277万7千円、率にして2.8%の増となっております。

次に、主要事業についてでございます。令和3年度予算臨時事業費説明資料により臨時事業の概要を御説明申し上げます。

初めに、18-1ページ、10款教育費、5項社会教育費、1目社会教育総務費、地域学校協働活動推進費、予算額10万5千円につきましては、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして行う連携、協働を推進するため、地域学校協働本部の設置やコーディネーターを配置するほか、地域学校関係者等向け研修会を実施するものでございます。

次に、18-2ページ、同じく1目社会教育総務費、アイヌ施策推進費、予算額3千316万円につきましては、令和2年度から国のアイヌ政策推進交付金を活用して実施している、博物館と民間アイヌ施設における小中学生のアイヌ学習プログラムなどの普及事業を一層推進するとともに、民間アイヌ施設の機能充実のための施設整備について、交付金活用に向けた国との協議を継続し、地質調査や実施設計に着手できるよう取組を進めてまいります。

次に、同じく18-2ページ、2目公民館費の、地域を支えるシニア世代人材育成費、予算額647万8千円につきましては、高齢者の学びや活動の拠点となるシニア大学の運営を行い、シニア世代が地域を支える一員として活躍できる学習環境づくりに取り組むほか、中心市街地という立地を生かした市民向けの講座を開催し、学習機会の充実を図るものでございます。

次に、同じく18-2ページの、3目図書館費、図書館事業活動費、予算額173万8千円につきましては、旭川市子ども読書活動推進計画に基づき、関係団体と連携した事業を実施し、子どもの読書習慣の形成を図るほか、様々な世代を対象に幅広く読書活動につながる取組を行ってまいります。そのほか、地域を知り、将来のまちづくりのための基本資料となる旭川叢書の発行作業も進めてまいります。

次に、18-3ページの、4目博物科学館費、科学館事業活動費、予算額1千519万8千円につきましては、科学への興味づけや理解及び普及のための各種講座を実施するほか、新設いたしましたサイパル未来基金を活用し、常設展示室に視覚や聴覚などで錯覚を体感できる展示コーナーと、地球温暖化や人口密度など多様な情報データが得られるインタラクティブ地球儀を設置するほか、3Dプリンターやレーザーカッターを導入し、参加者が自由な発想でものづくりを体感できる事業を実施するものでございます。

次に、同じく18-3ページの、4目博物科学館費、博物館企画展示費、予算額47万4千円につきましては、博物館の常設展示を補完し、市民の学習ニーズを踏まえ、新たな興味、関心を喚起することを目的に、アイヌの人々の暮らしと動物との関わりや、博物館が所蔵するこけしを活用して、その歴史や特徴を紹介する企画展を開催するものであります。

次に、18-4ページの、5目市民文化会館費、文化会館自主文化事業費、予算額1千265万4千円につきましては、多くの市民が優れた文化芸術に接する機会を提供することを目的として、令和3年度は、札幌交響楽団旭川公演や声優朗読劇、人形劇等を行うこども芸術劇場を実施するものでございます。

最後に、同じく18-4ページ、7目彫刻美術館費、中原悌二郎賞関係費、予算額595万6千円につきましては、本年は第42回の中原悌二郎賞の開催年に当たるため、賞の選考をはじめ、贈呈式や記念講演会を実施するほか、受賞作家の作品を美術館で収蔵、展示を行うことなどにより、彫刻を通じた文化芸術の振興を図るものでございます。

以上が、社会教育部所管分の予算の概要でございます。よろしく願いいたします。

○林委員長　ここで、発言はございますか。

（「なし」の声あり）

○林委員長　ないようなので、本日の議題は以上となります。散会をいたします。

散会　午前10時34分